

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	肝切除における腹腔鏡下手術とロボット支援下手術のアウトカムに関する比較検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 肝胆膵・乳腺外科 (職名) 医員 (氏名) 盛田興輔
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日
対象となる方	2012 年 1 月から 2025 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち腹腔鏡下肝切除あるいはロボット支援下肝切除を施行された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	ロボット支援下肝切除は日本では2011年に最初に報告され、2022年4月から、施設基準を定めて腹腔鏡下肝切除で保険収載されているすべての術式がロボット支援下肝切除においても保険適用となり、当院でも2023年2月より、ロボット支援下肝切除を導入しております。肝切除は病変の部位やがんの種類によって適した手術方法が異なり、それぞれの術式の特徴や利点、欠点を十分に把握し、疾患ごとに最適な手術方法を選択することが重要です。本研究は肝切除におけるロボット支援下手術と腹腔鏡下手術という2つの主要な低侵襲手術のアウトカムの比較検討を行い、ロボット支援下肝切除を選択する妥当性を示すことを目的とします。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。

	また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科 盛田興輔 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960-5327